

項目	内容
名称	ベルガモット油 [英]Bergamot Oil [学名]Citrus bergamia Risso et Poit., Citrus aurantium var.bergamia
概要	ミカン属植物であるベルガモットは熱帯アジア原産で、イタリア南部が主な栽培地であり、高さ10 m程度に生長する。この果皮からとれる精油はベルガモット油と呼ばれ、アールグレイ茶、アルコール飲料をはじめとした食品全般や化粧品に、香料として利用されている。
法規・制度	<p>■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p> <p>■ 食品添加物 ・天然香料基原物質リスト ベルガモット、ベルガモットミントが記載されている。</p> <p>■ 海外情報 ・米国では、GRASに該当する。</p>
成分の特性・品質	

主な成分・性質	・リナリルアセテート、リナロール、セスキテルペン類 (α -トランス-ベルガモテン、カリオフィレン、 β -ファルネセン、フムレン、 β -ピサポレン)、テルペン類 (リモネン、p-シメン、 γ -テルピネン、フェランドレン、 α -ピネン、 β -ピネン)、n-アルカン類、フロクマリン類 (ベルガプテン、ベルガモチン、シトロプテン、7-メトキシ-5-ゲラノキシクマリン、ベルガプトール、イソピンピネリン、キサントトキシシン)などを含む (23)。
分析法	・果汁中の揮発性芳香成分 (リモネン、リナロール、p-シメンなど) と脂肪酸組成をGC-FIDで分析した報告がある (PMID:12648552)。
有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトの生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
で脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
の免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
評価骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (23) 天然食品・薬品・香粧品の事典 朝倉書店 小林彰夫ら 監訳 (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (PMID:12648552) Phytochemistry. 2003 Apr;62(8):1283-9. (PMID:11988248) Lancet. 2002 Apr 27;359(9316):1484.